

NAGASAKI  
UNIVERSITY



長崎大学大学院

経済学研究科

Graduate School of Economics

概要 2026



社会学の想像力で、  
自身と他者、  
そして世界を繋ぐ



長崎大学大学院  
経済学研究科長  
教授

井田 洋子

*Ida Yoko*

「個人史と歴史、そして社会における両者の交差という問題に立ち戻ることなくして、社会をめぐる研究はその知的冒険を全うすることはできない。」(C.ライト・ミルズ)

上記は、アメリカ合衆国の社会学者C.ライト・ミルズ(1916-1962)の『社会学的想像力』の一説です。彼が提唱した「社会学的想像力」は、当時のアメリカ社会に多大な影響を与えただけでなく、現在もなお、社会学をはじめ経済学、政治学、法律学等、社会を研究対象とする社会科学全般を学ぶ者に求められる力として認識され続けています。ミルズは、いわゆるグランドセオリー(あらゆる領域に適用可能な一般理論)や抽象化された経験主義を批判し、個人的体験を自身が属する社会の状況ないしは社会構造と結び付けて思考する態度を奨励したわけですが、この考え方の根底には、活きた学問を志向する実践主義(プラグマティズム)の哲学が横たわっているとも理解されています。そして、そうだとすれば、この「社会学的想像力」こそは、本研究科の母体である長崎大学経済学部が1905年の創立以来、一貫して目指してきた「実践的エコノミスト」育成の通奏低音をなしていると言って良いでしょう。

さて、ニューヨークの貿易センタービル爆破事件で幕を開けた21世紀の社会は、四半世紀が経とうとしている今日、ますます混迷の度を深めているように思えます。なかでも、2011年3月11日の東日本大震災及び福島第1原子力発電所事故、2019年秋以降に出現した新型コロナウイルス(COVID-19)によるパンデミックの発生、2022年2月24日のロシアによるウクライナ軍事侵攻に端を発するロシア・ウクライナ紛争、2023年10月7日のイスラム原理主義組織ハマースの暴力行為を契機とするガザ地区をめぐるハマースとイスラエルの武力闘争、さらには2026年に入ってからアメリカ合衆国によるベネズエラ及びイランに対する軍事行動等、あたかも我々人類の叡智や良心を試そうとするかのような事態が立て続けに発生しています。

他方、SNSの普及やAI技術の目をみはるような進歩は、我々の言論空間や学問環境に劇的な変化をもたらしています。事実、「表現の自由」を盾にした、主にSNSを媒介とするフェイクニュースやデマの拡散は、世界各地で、それが選

挙結果を左右するほどの恐るべき力を持つことを証明するだけでなく、取り返しのつかない人権侵害をも再生産しています。また、生成AIの登場は、学問の醍醐味である「思考する」「想像する」といった行為それ自体の意義や批判的精神を持つことの重要性を、我々に改めて問い直す必要性を自覚させるものとなっています。さらに、近年、日本でも広がり指摘されている「反知性主義」の横行もまた、大学・大学院(研究科)の教育や研究に対する挑戦と捉えるべきでしょう。

大学・大学院(研究科)は、健全な懐疑心や好奇心を糧に学究を行う場所です。私達は大学人として、幅広い教養と確かな論理に裏打ちされた専門知の継承と伝達、真理の追求や新しい知の創造を、学生・研究生たちと目指したいと思えます。同時に、学究活動に際しては、人類を含む生物の多様性に対する理解と、いかなる権力にも縛られない自由で柔軟な精神が求められるという点についても強調したいと思います。

長崎大学大学院経済学研究科は、1995年(平成7年)に修士課程「経済経営政策専攻」を、さらに2004年(平成16年)に博士後期課程「経営意思決定専攻」を設置し、現在の姿になっています。前期課程には、MBAコースと研究コースの2つが設けられており、前者は、とりわけ起業を目指す人や税理士・会計士等を目指す人に、後者は研究者を目指す人に適したコースとなっています。また後期課程は、その重点を研究者教育ではなく社会人のキャリアアップやリカレント教育においている点に、他大学の研究科とは異なる独自性を見出すことができます。

長崎大学大学院経済学研究科に籍を置く現在及び将来の研究生の皆さんには、見せかけではない真の専門知及びその応用力の獲得、並びに物事の本質を見抜く力を養ってほしいと思えます。さらに、皆さんには、自らの「社会学的想像力」を大いに駆使して自身の経験を長崎、日本、そして国際社会の歴史的な脈絡の中で捉え直した上で、この世界が直面している様々な課題の解決に対して、より良い解を導き出すべく思考を巡らし、また深めていくことを期待します。

## contents

P01	あいさつ	P12	先輩からのメッセージ
P03	博士前期課程 研究コース	P13	研究環境
P05	博士前期課程 経営学修士コース	P14	入試情報
P07	博士前期課程 カリキュラム	P15	所在地および交通案内
P09	博士後期課程		
P10	博士後期課程 カリキュラム		

# 博士前期課程

## 研究コース

研究コースでは、特定の専門領域や問題分野において、幅広い体系的知識とそれに基づく応用力（思考力、技法）をもって深遠な問題を追究する研究能力を有する者を育成します。



## 特徴・概要

### ●カリキュラム・ポリシー

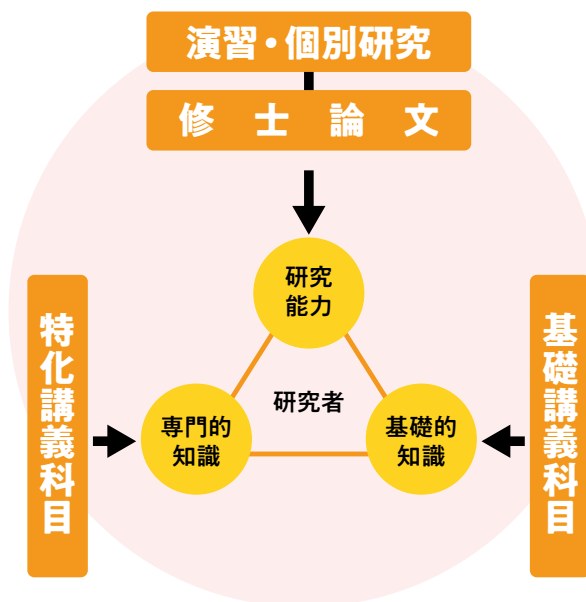
研究コースでは、基礎知識を学ぶ基礎講義科目、多様な専門的知識を学ぶ特化講義科目、修士論文を作成する演習を設置し、各々の問題意識に応じて研究を遂行できるカリキュラムを編成しています。

### ●学位審査基準

研究コースの学位論文の審査は、修士論文によって行います。修士論文には、タイトルに即し、一貫した視点の下で、先行研究の整理から考察結果に至る論旨を展開する論文としての総合性が求められます。そのため、修士論文の審査においては、次に示す基本要件の観点から評価を行います。

- ・基礎講義科目（8単位）では、講義形式によって現代の経済・経営課題を分析するための基礎知識を修得します。
- ・特化講義科目（12単位）では、講義形式に加え、ディスカッションや報告などのアクティブラーニング、調査などのフィールドワーク等、科目の特徴に応じた多様な授業形式によって、現代の経済・経営課題を分析だけでなく、実践的な解を提示するための専門的知識を修得します。長期履修制度、経営学修士コースの夜間・土曜日開講という特徴も有しています。
- ・演習（修士論文）（10単位）では、指導教員や必要に応じて配置される指導教員とは専門分野の異なる副指導教員による指導の下で、経済・経営課題の分析や実践的な解の提示を含む総合的・学際的な視点から研究できる能力を身に付けます。

- 履修基準：最低修得単位数の合計は、30単位。
- 学 位：修士（経済学）または修士（経営学）



PENG XINQI

ホウ シンギ

令和6年3月博士前期課程修了

私は、古着リサイクルの現状と課題を本格的に研究したかったため、長崎大学大学院経済学研究科に進学することを決めました。進学前は様々な不安や心配がありましたが、進学後は指導教員をはじめとする研究科の先生方が親身になって対応してくださったので、次第に不安や心配は払しょくされていきました。学生生活については、週1回のゼミに参加したり、空き時間には授業で課される発表の準備などをしたりします。また、研究科のカリキュラムは開講科目が非常に豊富で、先生が一方向的にアウトプットするだけの科目ばかりではありません。それぞれ異なる学問分野の先生や院生が集まり、自分の学問の立場から自由に意見を交わすことができる授業が展開されています。研究科で大学院生活を送ることができて良かったと感じています。

● 時間割の例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1校時					
2校時					
3校時	労働経済学特講	開発経済学特講		公共経済学特講	経済政策特講
4校時			演習		
5校時					
6校時			経営戦略論特講		
7校時					



研究コースの履修スケジュール（標準）

第1学年		第2学年	
第1セメスター	第2セメスター	第1セメスター	第2セメスター
基礎講義科目 (8単位)			
特化講義科目 (12単位)			
演習 (個別研究・修士論文) (10単位)			

# 博士前期課程

## 経営学修士コース

経営学修士コースでは、特定の専門領域や問題分野において、幅広い体系的知識とそれに基づく応用力（思考力、技法）をもって実践的問題解決能力を有する者を育成します。



## 特徴・概要

### ●カリキュラム・ポリシー

経営学修士コースでは、経営にかかる基礎知識を修得するベーシック科目、問題解決に資する専門的知識を身につけるコース科目、問題の設定から課題レポートのとりまとめまでを行う演習を設置して、各々の問題意識に応じた問題解決にかかる検討を遂行できるカリキュラムを編成しています。

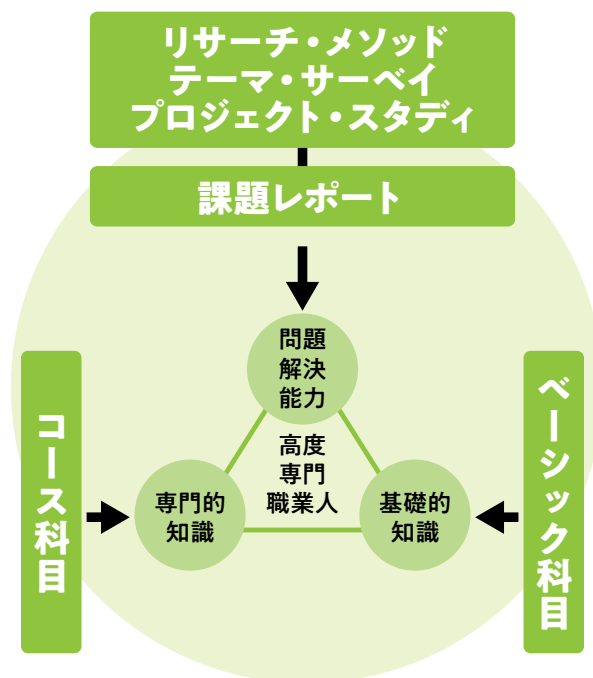
### ●学位審査基準

経営学修士コースの学位論文の審査は、課題レポートによって行う。課題レポートは、必ずしも論文としての総合性を要求するものではなく、次のような個別的なテーマについての報告又はレビューでもかまいません。

- ・計量技術による統計分析（アンケート分析など）
- ・企業などの事例研究（会社事例など）
- ・職場における課題研究（問題解決など）
- ・文献研究（文献や仮説のサーベイなど）

- ・ベーシック科目（8単位）では、講義形式によって現代の経済・経営課題を分析するための基礎知識を修得します。
- ・コース科目（12単位）およびリサーチ・メソッド（2単位）、テーマ・サーベイ（2単位）では、講義形式に加え、ディスカッションや報告などのアクティブラーニング、調査などのフィールドワーク等、科目の特徴に応じた多様な授業形式によって、現代の リサーチ・メソッド経済・経営課題を分析するだけでなく、実践的な解を提示するための専門的知識を修得します。
- ・プロジェクト・スタディ（課題レポート）（6単位）では、指導教員や必要に応じて配置される指導教員とは専門分野の異なる副指導教員による指導の下で、経済・経営課題の分析や実践的な解の提示を含む総合的・学際的な視点から研究できる能力を身に付けます。

- 履修基準：最低修得単位数の合計は、30 単位。
- 学 位：修士（経営学）



● 時間割の例



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1校時						
2校時						
3校時						テーマ・サーベイ
4校時						
5校時						
6校時	アジア・ビジネス・マネジメント	企業論	コスト・マネジメント	経営組織		
7校時		財務会計		経営情報		

経営学修士コースの履修スケジュール（標準）

第1学年		第2学年	
第1 セメスター	第2 セメスター	第1 セメスター	第2 セメスター
ベーシック科目 (8 単位)			
コース科目 (12 単位)			
演 習			
リサーチ・メソッド (2 単位)	テーマ・サーベイ (2 単位)	プロジェクト・スタディ (6 単位)	
		(4 単位)	(2 単位)

# 博士前期課程 **カリキュラム**

(標準修業年限 2年)

## 長期履修制度

本研究科では、研究コース・経営学修士コースともに標準修業年限(2年)での修学が困難な事情にある者(①職業を有し、就業している者 ②家事、育児、介護等に就いている者 ③障害のある者)については、標準修業年限の2倍(4年間)までの長期履修を申請することができる制度を設けています。

この申請が許可されると、標準修業年限に納付すべき授業料(2年間分)で認定された履修期間在学することができます。

## 教育職員免許状(商業) 〔専修免許状(商業)〕

本研究科では「高等学校教諭1種免許状(商業)」を有する者は、本研究科博士前期課程において所定の単位を修得すれば、「高等学校教諭 専修免許状(商業)」を取得することができます。



## 夜間・土曜日開講

経営学修士コースでは、夜間開講と土曜日開講を実施しています。また、修了に必要な単位をこれらの開講科目でカバーできるようにカリキュラムが編成されていますので、平日勤務しながらでも時間的に余裕をもって受講し、課題に取り組むことができます。

教員紹介

経済学の  
踊り場



## 1. 研究コース

基礎講義科目	マクロ経済学	経営組織論特講
	ミクロ経済学	経営戦略論特講
	データ・アナリシス	マーケティング特講
	統計学	企業論特講
	経営学	経営史特講
	会計学	経営情報分析特講
	公共政策特講	数理計画法特講
	世界経済論特講	最適化モデル分析特講
	地域経済特講	金融システム特講
	開発経済学特講	金融論特講Ⅰ
特化講義科目	国際経済政策特講	金融論特講Ⅱ
	経済政策特講	国際金融論特講
	国際経済学特講	保険学特講
	労働経済学特講	現代ポートフォリオ理論特講
	応用ミクロ経済学特講	財務会計特講
	経済・経営史特講	原価計算特講
	財政学特講	現代会計特講
	理論経済学特講Ⅰ	会計制度特講
	理論経済学特講Ⅱ	管理会計特講
	応用統計学特講	日本・アジア国際関係特講
経済系	公共経済学特講	異文化コミュニケーション特講
	計量経済学特講	比較公法特講
	応用数理特講	経済法特講
	ゲーム理論特講	租税法特講
	経営学原理特講	民法特講
	企業管理特講	会社法特講
	人的資源管理特講	
経営系		
特化講義科目		
金融系		
会計系		
財務系		
コミュニケーション系		

## 2. 経営学修士コース

ベーシック科目	経営学	会社法
	会計学	財務会計
	データ・アナリシス	管理会計
	経済学	コスト・マネジメント
	取引法	国際会計
	経営戦略	現代ポートフォリオ
	経営組織	金融システム
	マーケティング	国際・ファイナンス
	企業論	保険学
	人的資源管理	アジア市場分析
コース科目	経営情報	アジア・ビジネス・マネジメント
	経済・経営史	
コース科目		

# 博士後期課程

博士後期課程では、トップマネジメントをはじめとするリーダーに必要な不可欠な意思決定能力を授けることにより、十分に研究能力を有する高度専門職業人を育成します。



## 特徴・概要

### ●教育理念

合理的で迅速な意思決定能力を身に着けた、トップマネジメントに代表される組織のリーダー、あるいはその候補者などの育成をその目的とする。

### ●教育研究上の目的

トップマネジメントをはじめとする組織のリーダーに必要な不可欠な意思決定能力を授けることにより、十分に研究能力を有する高度専門職業人を育成し、経済社会の発展に資することを目的とする。



## カリキュラム（標準修業年限 3年）

- 講義科目は、2つの研究分野（意思決定基礎、意思決定応用）に従って区分し、学生の研究テーマに応じて、意思決定に不可欠な知識を補うために必要な科目を設置する。



資質等	科目等	講義科目	必修/選択	単位数	最低修得単位数
意思決定基礎	意思決定の基礎となるマネジメントの基本的知識および合理的な意思決定に関する理論とそれを可能にする方法論を探求し、意思決定能力の養成を図る。	トップマネジメント特論	選択	各2	0
		企業行動原理特論			
		ゲーム理論特論			
		数理計画法特論			
		決定分析特論			
		経営情報分析特論			
		経済・経営史特論			
意思決定応用	企業、自治体、NPO・NGOなどの意思決定主体の環境に関する必要な情報の収集とその分析・整理を行い、解決策を探求することにより意思決定能力の養成を図る。	人的資源管理特論	選択	各2	0
		会計学特論			
		企業ファイナンス特論			
		金融システム特論			
		国際金融特論			
		国際経済学特論			
		現代世界経済特論			
		開発経済学特論			
		労働経済学特論			
		公共経済学特論			
		ビジネス法特論			
		地域経済特論			
		国際関係特論			

- 「演習」は、論文作成過程に沿って3つの段階（テーマサーベイ、リサーチ演習、特別演習）に分け、学生の研究テーマに応じて複数教員（指導教員および副指導教員）を配置する。

	内 容	必修/選択	単位数	最低修得単位数
テーマサーベイ	研究テーマの具体化のために、先行研究および参考文献、参考資料、データなどを収集し、研究テーマに関連する理論、研究方針や方法ならびに手順など総括的な観点からサーベイを行う。	必修	4	4
リサーチ演習	研究テーマについて、参考文献、参考資料、データなどにより、フィールドワークを含む調査研究を行う。また、必要に応じて研究テーマに沿った領域について実務経験のある関連領域アドバイザーを起用した指導体制を採用する。	必修	6	6
特別演習	テーマサーベイ、リサーチ演習の成果等に基づき、研究テーマに即した解決策の探求に基づく学位論文を作成する。論文の作成過程においては綿密な経過管理を行う。	必修	6	6

- 履修基準：最低修得単位数の合計は、16単位。
- 学 位：博士（経営学）

### 履修のスケジュール（標準）

第1年次		第2年次		第3年次	
第1 Semester	第2 Semester	第1 Semester	第2 Semester	第1 Semester	第2 Semester
講義（選択） 論文作成に必要な科目を履修					
演習（必修：16単位）					
テーマサーベイ（4単位） ○指導教員・副指導教員による指導		リサーチ演習（6単位） ○指導教員・副指導教員による指導		特別演習（6単位） ○指導教員・副指導教員による指導	
テーマサーベイ 報告会		特別演習中間 報告会		博士論文中間 報告会	
参考論文公表・学会報告				予備審査 学位審査	

# 博士後期課程



## 長期履修制度の実施

本研究科では、標準修業年限（3年）での修学が困難な事情にある者（①職業を有し、就業している者 ②家事、育児、介護等に従事している者 ③障害のある者）については、標準修業年限の2倍（6年間）までの長期履修を申請することができる制度を設けています。

この申請が許可されると、標準修業年限に納付すべき授業料（3年間分）で認定された履修期間在学することができます。



## 土曜日開講

講義や演習等はすべて土曜日に行われますので、遠隔地からの通学が容易になっています。



# Message

先輩からのメッセージ

## 能力に投資



実社会でも  
とても役立つもの

培った能力は  
研究者はもちろん

博士課程に入学して修了するまでには、時間も、手間も、お金もかかります。特に、働きながら通う際は、日々のやりくりにも、ちょっと工夫が必要です。ただ、様々な苦勞を投資した以上のリターンが、自身の能力として返ってくることは実感できると思います。

私は、主にクラシック音楽業界をフィールドとしながら、アートマネジメントや文化経営学の専門家として、主に公共文化事業等に従事しています。公共文化事業の現場では、アーティストのみならず、行政や企業、市民など、多様なステークホルダーとの折衝が日常的に行われます。加えて、公的資金を投入するため、その都度、成果を各ステークホルダーに説明する必要があります。博士課程を受験するにあたり、私が抱えていた課題は、文化芸術という、定性的には一定程度説明(評価)できても、定量的に評価し難い分野について、各方面にどのような成果の示し方があり得るのか?また、定量的に評価し得るとすると、どのような方法を通じて実態に即した評価が可能なのか?というものでした。そして、運よく数学がご専門の先生にお声掛けいただき、データ包絡分析法(DEA:Data Envelopment Analysis)を、オーケストラの複数項目からなる実績データに適用した、新たな定量的な評価方法を提案することができました。そして、修了後も、業務と関連して、この研究の次の展開を検討中です。

博士論文の執筆過程には、①あるテーマに関する先行研究や現在進行中の事象を網羅的かつ確実に把握し、②それに基づいて自身の研究テーマを確立し、③仮定を立て、分析方法を決定して検証し、考察して、④最終的に新規性・独創性・検証可能性等を伴った理論を発表する、という大きな流れがあります。博士課程は、この一連の過程を通して、各研究分野で研究者として立ち立つ知識・技能を身につける場です。ただ同時に、ここで培った能力は、実社会でもとても役立つものです。個人的には、多様な情報を収集し、選択し、整理して、編集する能力が以前と比べ向上し、日々の業務が効率化され、総じて自分が楽になった(←ココが重要!)気がします。研究者を目指す方はもちろん、ビジネスの世界でご活躍の方々にも、この体験はおススメです。ぜひご検討ください。

## 学びの炎は、消えない— 次に歓喜の扉を開くのはあなた



私が  
私を超えていく

私は、十八銀行(現十八親和銀行)での仕事と家族の介護に向き合いながら、52歳で博士後期課程に進学し56歳で博士を取得しました。博士論文のテーマは「戦略不全の中期的分析枠組み」という経営戦略の機能不全を研究しました。

仕事と研究の両立は、予想以上に時間も体力も限界の中で不安と葛藤の連続でした。それでも、「研究に対する問いと熱量」は消えず、逆に加速していきました。慌ただしく仕事を終えるとスーツ姿のまま夜のキャンパスへ駆け込み、帰宅後や土日祝日も研究に向かう時間は不思議と胸が高鳴りわくわくする、私にとってかけがえのない「幸せの時間」でした。往復の通勤バスの中は参考文献を読み込み、博士論文を考察する最高の研究室。まさに、日常の全てが学びの場でした。

ビジネスの現場で抱いた疑問が研究によって理論と結びついた瞬間、胸が震えるほどの「人生最高の歓喜」が込み上げました。研究することは、自分の世界を広げ人生を豊かにする原動力そのものだと思心から実感したのです。

そんな私を支えてくださったのが、指導教員の林徹先生と林ゼミの仲間、そして家族の存在でした。温かく寄り添う林先生の指導に何度も救われ、挑戦を続ける勇気をいただきました。林先生、ゼミの仲間、家族へ感謝の念に堪えません。博士後期課程での研究=学びは人生を変える、研究の積み重ねが確信に変わり困難な道を切り拓き、今、私は、博士後期課程修了すると同時に、夢であった実務家大学教員として長崎総合科学大学で教壇に立っています。

しかし、人生の挑戦に終わりはありません。63歳となった現在も、長崎県立大学大学院博士後期課程地域創生研究科で「二つ目の博士号」取得を目指し、「地域の未来を創るインクルーシブイノベーションの研究」に挑み続けています。研究に年齢や環境は関係ありません。研究=学びたいと願った瞬間が出発点です。研究の先にある「歓喜の景色」を見たくないですか?次に人生の「歓喜」の扉を開くのは、あなたです。

最後にメッセージです。

「私が私を超えていく」Alexandros - 超える より

令和4年3月博士後期課程修了  
長崎県文化団体協議会

新井 友梨  
Arai Yuri

平成31年3月博士後期課程修了/  
平成12年3月博士前期課程修了  
長崎総合科学大学教授

藤原 章  
Fujihara Akira

# 研究環境



## 大学院生研究室

院生研究室には、各自個人用デスクの他、会議テーブルを配置して常時グループ・ディスカッションが可能なスペースが確保されており、快適な研究環境が提供されています。



大学院生研究室

## 附属図書館

本学文教キャンパスに中央図書館、片淵キャンパスに経済学部分館があり、海外文献、貴重書を含め、充実した蔵書数を誇っています。また、社会人学生に配慮して、経済学部分館の平日の開館時間は8:30から21:45までとなっています。



図書館閲覧室

蔵書数（経済学部分館） 令和7年4月1日現在

図 書 数 (冊)		
和漢書	洋書	計
197,266	84,167	281,433

雑 誌 の 種 類		
和文	欧文	計
4,287	1,244	5,531

開館日（経済学部分館）

月～金曜日（休業期を除く）	8:30～21:45
* 休業期間等	8:30～17:00
土曜・日曜・祝日	12:00～18:00

休館日（経済学部分館）

夏季一斉休業、年末年始
-------------

## 入学料・授業料（令和8年度）

入学時に必要な経費は以下のとおりです。

**入学料 282,000円**

**授業料 267,900円**

（年額535,800円の中の前期分）



## 奨学生

人物・学業がともに優秀かつ健康であって、経済的理由のため修学が困難であると認められる者に対して、選考の上、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金が貸与される制度があります。ただし、所得の限度額を超えている者や勤務先から派遣されて、大学院に在学する者等については対象外となっています。

\* 奨学金制度の詳細については、独立行政法人日本学生支援機構等各種奨学金の募集要領を参照してください。

# 入試情報

進学説明会を例年6月と11月に実施。

## 博士前期課程 (募集人員 15名)

入試の実施時期は9月。

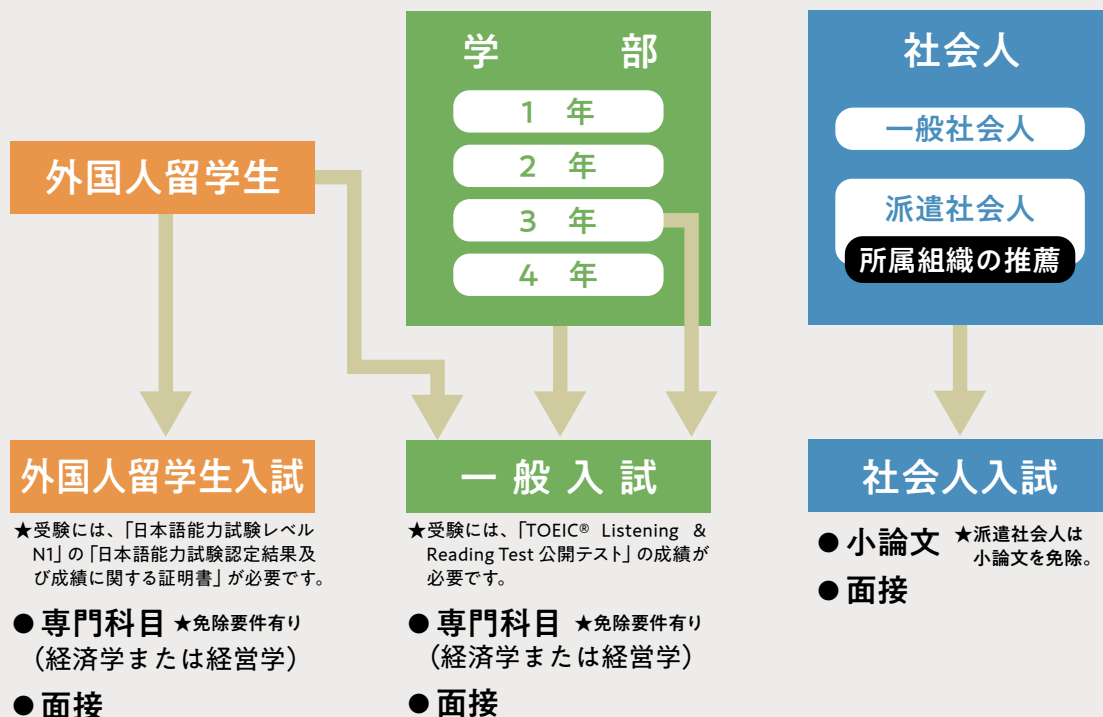
状況により2次募集を実施するため、右記博士前期課程入試QRコードより情報を確認してください。



より詳しい情報はこちらから



博士前期課程入試情報



## 博士後期課程 (募集人員 3名)

入試の実施時期は2月。

下記博士後期課程入試QRコードにある学生募集要項を確認してください。

状況により2次募集を実施するため、下記博士後期課程入試QRコードより情報を確認してください。



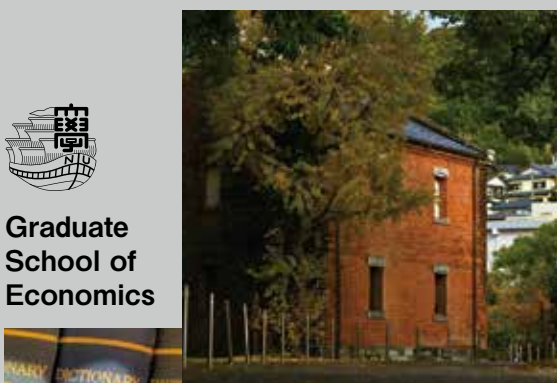
# 所在地および交通案内



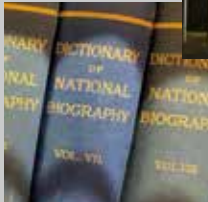
## Access

### JR 長崎駅からの交通

- 県営バス** 「長崎駅前東口」から乗車  
 先行：「循環」「浜平・立山」「西山台団地」「西山木場」行きで「**経済学部前**」下車すぐ
- 路面電車** 「長崎駅前」から乗車  
 先行：「蛸茶屋」行きで「**諏訪神社**」又は「**新大工町**」下車 徒歩約10分
- タクシー** JR長崎駅前から約10分



Graduate School of Economics



Nagasaki University

教員紹介

経済学の踊り場

長崎大学大学院経済学研究科  
 〒850-8506 長崎市片淵4丁目2-1  
 TEL (095) 820-6325 FAX (095) 820-6390  
<http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp>

